

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月12日

計画の名称	通学路等における交通安全対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	広島市													
計画の目標	通学路等において交通安全対策や事故対策を行い、安全な歩行者空間及び自転車走行空間を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		5,909	A	5,909	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(1,3:H29当初、2:H26)		(R3末)
1	通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を14%増加させる。 通学路対策済率 通学路対策済率（%）＝（対策済箇所数）／（要対策箇所数）			
		0%	%	14%
2	JR安芸中野駅自由通路の整備により、周辺の踏切（神田第2、京田第3）の歩行者通行量を72%減少させる。 安芸中野駅周辺の踏切（神田第2、京田第3）の歩行者通行量			
		2310人/日	人/日	628人/日
3	広島市内の自転車事故発生件数を24%低減させる。 自転車事故低減率 自転車事故低減率＝（1－自転車事故件数/H28年の自転車事故件数）×100			
		0%	%	24%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	長東八木線（3工区）	道路改良 L=0.6km	広島市	■	■	■	■	■	497		－
	A01-002	道路	一般	広島市	直接	広島市	市町村 道	改築	安芸1区121号線（亀 田第4踏切）	踏切道改良 L=0.1km	広島市	■					110		－
	A01-003	道路	一般	広島市	直接	広島市	市町村 道	改築	JR安芸中野駅自由通路	自由通路 L=0.1km	広島市		■	■	■		1,300		－
	A01-004	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	長東八木線（4工区）	道路改良 L=0.5km	広島市		■	■	■	■	1,213		－
	A01-005	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	矢野中央線	道路改良 L=0.4km	広島市		■	■	■	■	895		－
	A01-006	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	畑口寺田線ほか1路線	道路改良 L=0.9km	広島市		■	■	■	■	1,409		－
	A01-007	道路	一般	広島市	直接	広島市	市町村 道	交安	自転車ネットワーク整備 （市道中1区62号線ほ か）	自転車走行空間整備	広島市		■	■	■	■	344		－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-008	道路	一般	広島市	直接	広島市	市町村 道	改築	西4区47号線（草津踏切）	踏切道改良 L=0.1km	広島市					■	94		—	
	A01-009	道路	一般	広島市	直接	広島市	市町村 道	改築	安佐南1区194号線（ 毘沙門踏切）	踏切道改良 L=0.1km	広島市					■	16		—	
	A01-010	道路	一般	広島市	直接	広島市	市町村 道	改築	安佐南3区391号線（ 芦田屋踏切）	踏切道改良 L=0.1km	広島市					■	11		—	
	A01-011	道路	一般	広島市	直接	広島市	市町村 道	交安	通学路合同点検安全対策 （市道安佐南4区354 号線ほか）	歩行空間の確保	広島市					■	20		—	
												小計						5,909		
											合計							5,909		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
道路交通局道路部街路課で評価を実施	令和6年2月
	公表の方法
	広島市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・長束八木線（3工区）及びJR安芸中野駅自由通路などの対象事業箇所の整備が完了し、安全な歩行者空間を確保することができた。 ・中1区62号線をはじめとする市道について自転車ネットワークを計画的に整備することで、安全な自転車走行空間の確保を進めることができている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

事業を継続する要素事業の内、都市計画道路長束八木線（4工区）、矢野中央線、畑口寺田線ほか1路線並びに市道安佐南1区194号線（毘沙門踏切）及び市道安佐南3区391号線（芦田屋踏切）については、令和4年度より新たに創設された「交通安全対策補助（通学路緊急対策）」に移行し、より重点的な支援を受けながら事業を進めることとした。また、自転車ネットワーク整備（市道中1区62号線ほか）及び市道西1区47号線（草津踏切）については、通学路等における交通安全対策の推進（Ⅱ期）（防災・安全）に移行し引き続き整備することとした。令和4年度以降も引き続き通学路等における交通安全対策や事故対策を行い、安全な歩行者空間及び自転車空間の確保を行う。

整備効果の発現状況については、2つの定量的指標（①通学路対策済率②自転車事故重傷者低減率）で確認する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を14%増加させる。		
	最 終 目標値	14%	目標を達成した。
	最 終 実績値	14%	
2	J R 安芸中野駅自由通路の整備により、周辺の踏切（神田第 2、京田第 3）の歩行者通行量を72%減少させる。		
	最 終 目標値	628人/日	J R 安芸中野駅自由通路の整備により、周辺の踏切（神田第 2、京田第 3）の歩行者通行量は1,675人（27%減）となり、一定の歩行者通行量の転換は図れたが、自由通路に至るまでのアクセス性・安全性が十分でなかったため、最終目標値に達しなかったと考えられる。
	最 終 実績値	1675人/日	
3	広島市内の自転車事故発生件数を24%低減させる。		
	最 終 目標値	24%	目標を達成した。
	最 終 実績値	38%	